朝日 '76.6.19
東京夕刊



# 「安楽死法案」を可決

## 米カリフォルニア州議会下院

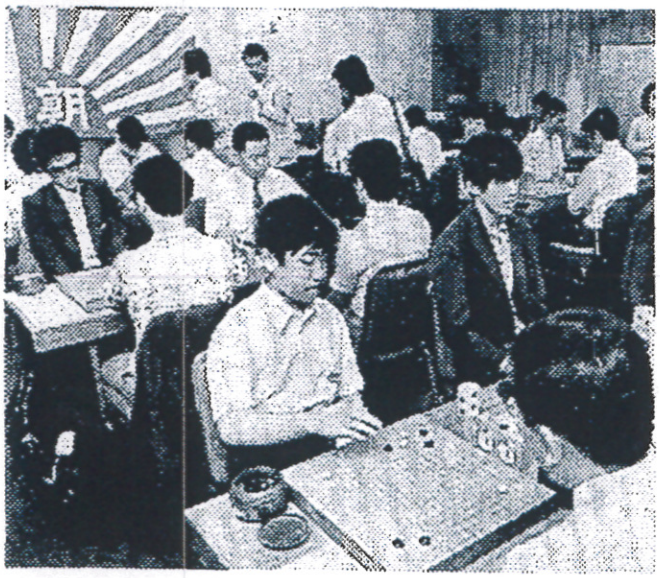
## 「装置外し」患者に権利

【サンフランシスコ十八日＝時事】カリフォルニア州議会下院は十七日、回復の見込みのない病人から生命維持装置を取り外すよう医師に求める権利を認めた「安楽死法案」を賛成四十三、反対二十二で可決、上院に送付した。もし州上院でも同法案が可決されれば、カリフォルニア州は全米で初めて「安楽死」を認める州となる。

これは、ニュージャージー州のカレン・アン・クインランさんの事件をきっかけに、カリフォルニア州でも安楽死承認の声が高まり、議員立法の形で提出されたもの。「自然死法」と呼ばれ、①十八歳以上で死の床にある患者は、医師に対し文書で生命維持装置の除去を求める権利を有する②この文書には、患者と血縁および遠縁相続上の関係のない二人の保証人を必要とする――という内容。

州下院での討論、採決は一時間に及ぶ白熱したものとなったが、賛成派は「回復の見込みのない患者には、生命を人工的に引き延ばす機会を断る権利がある」と主張、「生命は神が与えたもので、人間がこれを奪うことは許されない」「こんな法律が成立すれば次には何が来ると思うか」という反対論を抑えた。

守屋博順天堂大講師の話　法案の形で安楽死問題が実際の議論になったのは世界で初めてのことだ。法案の条文を十分検討してみないと、なんともいえないが、患者が元気なうちにあらかじめ文書で死を選ぶ意思を表示しておくのだから、「自殺を法的に認めること」と理解してもよいと思う。



朝日アマ囲碁十傑戦でがんばる全国最年少、中学生で代表になった神田英君（中央）＝19日、東京・新宿の厚生年金会館で

# 神田君（最年少）一

## 朝日アマ囲碁

## 一斉に…

第十六回朝日アマ囲碁十傑戦全国大会は、十九日朝から東京・新宿の厚生年金会館で始まった。西村朝日新聞東京本社学芸部長のあいさつ、長谷川日本棋院理事長の祝辞につづいて、六十九人の選手（都道府県代表六十二人、招待七人）の紹介がおこなわれ、九時四十五分いっせいに対局に入った。

中国地区、島根県代表の中学三

著作権法に基づき提供された複写物です。著作権者等の許諾がなければ、掲載・配信等ができない場合があります。　国立国会図書館　2014年9月26日